

高校生
発案連載



見ていく？なはまち

ふらっと 寄り道

ふらっと5
市場本通り

みなさんこんにちは！沖縄尚学の地域研究部です！夏もそろそろ終わりが近づいてきましたね。みなさんはどんな夏を過ごしましたか？私たち地域研究部は、県内外の高校生との交流会で、まちぐわーに関するプレゼンやエッセーを披露しました。

さて、みなさんは市場本通りを歩いたことがありますか？この通りは、国際通りとまちぐわーをつなぐ通りとして、地元客・観光客共に人通りがとても多いです。今月はそんな市場本通りを紹介します。

ガープ川との深い関係

昭和34年に「市場本通り」という名前がついたようです。国際通りのドン・キホーテから市場本通りに入った左側のお店の下には、ガープ川が流れています。昔のガープ川は大雨が降るたびに氾濫を繰り返していたそうですが、それを防ぐためガープ川に蓋をして、その上に「水上店舗」が建てられました(昭和40年)。水上店舗は農連プラザ手前まで続いていますが、第一牧志公設市場(現在新市場建設中)までのアーケードの商店街が市場本通りです。

「お菓子通り」とも呼ばれていました

市場本通りは国際通りとまちぐわーを繋ぐ道として、昔から多くの人通りが見られました。通りには沖縄の年中行事や冠婚葬祭に必要な郷土菓子を販売している菓子屋もち屋が多く、「お菓子通り」と呼ばれていたこともあるそうです。現在は、食品や雑貨などの沖縄県産品専門店が増えていて、観光客だけでなく、地元客にも求められるものがたくさん売っているのが魅力ですね。



伝統をつなぐ、歌でつなぐ

市場本通り会の川満倫由会長は「以前は人にぶつからないように歩くのが難しいほどの人通りでしたが、コロナ禍の影響を大きく受けました。徐々に人出は戻ってきていて、新しい公設市場が完成したら更に多くの人に来てくれると思います。ここでしか買えないものをそろえることで、先人によって作られた『市場本通り』という伝統を後世にも伝えたいです」と語ってくれました。

また、川満さんが中心になり、市場本通りを含む商店街(まちぐわー)を盛り上げるためにセブンワップスさんに「Home townわったーまちぐわー」というテーマソングを作ってもらったそうです。

ぜひ曲を聴いた後は実際に市場本通りに遊びに来てください！



▲まちぐわーテーマソングはこちらから



取材▼沖縄尚学高等学校 山本琉斗

なぽんちゃんのブックトーク

はいたい、なぽんちゃんです！
夏の暑さはまだ残りますが、空の青さが薄くなり、とんぼもちらほら。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋の到来です。焼き芋でお腹をいっぱい満たしたら本で知識欲も満たしましょう。
今月は、沖縄の宝、おじい、おばあの本をご紹介します。



市立図書館キャラクター「なぽんちゃん」

老いの正体



『老いの正体 認知症と友だち』

森村 誠一／著 (KADOKAWA：出版)
認知症と友だちになった著者が医師から受けた「生活習慣病」のアドバイス「楽しいものを探す・のんびりする・美味しいものを食べる・ゆっくり睡眠をとる・趣味を見つける」を実践し、老いることへの不安を無くし、毎日楽しく生きる為には何が必要で何がいらぬのかを綴っています。
人生100年時代と言われるこの頃、笑顔で楽しく毎日を歩む為のレシピは体にも、心にも栄養を与えてくれますよ。

『だいじょうぶ だいじょうぶ』

いとうひろし／作・絵 (講談社：出版)
頭が痛いときに手をおでこに当ててもらったら、なんだかそれだけで痛さが和らいだ気がしたことはありませんか。
おじいさんの暖かい手と「だいじょうぶ」という魔法の言葉は男の子の世界を開いてくれます。
「だいじょうぶ だいじょうぶ」…なんて優しくしてほっとして、心を強くしてくれる言葉なんでしょう。「だいじょうぶ」で育ったあなたが、今度は誰かに魔法をかけてくださいね。



(担当：繁多川図書館)

中央図書館 ☎917-3449

Q 応募のきっかけは？
県産野菜や果実の出荷業を営んでいたところ、健康的な素地が多く使用されているハラル食品に着目しました。県産野菜を使用したレトルトカレーの開発製造を行い、シニア世代や健康意識の高い方々向けに展開したいと思いました。



KIT
場首里石嶺町4・235・3・2階
☎090・2851・9210
平日10時～16時(不定休)



市は、コロナ禍でも、業態転換や新事業など新たな取り組みに挑戦する事業者へ、経費の一部を補助しています。

Vol.5 事業者の
新しいチャレンジを応援します！
事業刷新支援事業Ⅱ 問商工農水課 ☎951・3212



市ホームページ

Q 現在の状況
先般の長雨で県産野菜の生産量が落ち、ハラル食品は販売に至っていません。今後、野菜の生産量が回復次第、販売を検討しています。また、『誰でも食べられる食品』第弾として、ハラル用食肉を使用した試作品が完成しました。引き続き、カラダが喜ぶ企画開発を進めていきたいと考えています。



Q 今後の展望
古来から食されていた沖縄地産品の価値を見直し、現代の私たちの生活形態に合ったカタチで提供できるよう、生産者と消費者を結びつける役割を担っていきたくです。そして『健康長寿の邦おきな』の復活に取り組んでまいります。

広告

伝えたい人に
伝えたい情報を
スマホアプリに広告できる

位置情報を使ったスマホ時代の屋外広告

オンライン看板

- ご希望の配信先住所を指定 (10カ所までOK)
- アプリ表示用のバナー画像を準備



お問い合わせは
cpc001@kyoeiad.co.jp
03-5860-9468



kyoei ad
株式会社 キョウエイ・インターナショナル
www.kyoeiad.co.jp